

作成日：2018 年 4 月 17 日

安全性データシート (SDS)

1. 化学物質等及び会社情報

1.1 化学物質等の名称

製品名： Rugby 3G ME (ラグビー3G ME)

1.2 会社情報

会社名： エフエムシー・ケミカルズ株式会社

住 所： 〒100-0004 東京都千代田区大手町一丁目 1 番 1 号

電話番号： 03-5208-1010

FAX 番号： 03-5208-1012

1.3 推奨用途

農薬

2. 危険有害性の要約

2.1 GHS 分類結果

物理化学的危険性

可燃性固体 区分外

健康に対する有害性

特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）区分 2（神経系 全身）

特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）区分 2（神経系）

環境に対する有害性

水生環境急性有害性 区分 1

水生環境慢性有害性 区分 1

2.2 GHS ラベル要素

絵表示またはシンボル：



注意喚起語： 警告

危険有害性情報： 臓器の障害のおそれ（神経系、全身）、長期/反復暴露により臓器の障害のおそれ（神経系）、水生生物に非常に強い毒性、長期的影響により水生生物に非常に強い毒性

注意書き

[安全対策]： 環境への放出をさけること。

[応急措置]： 暴露した時または気分が悪い時は医師の診察を受けること。

漏出物を回収すること。

[貯蔵]： 施錠して保管すること。

[廃棄]： 内容物/容器を関連法規制ならびに地方自治体の基準に従い廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

3.1 単一物質・混合物の区別

混合物

3.2 成分情報

化学名または一般名	化学式	CAS 番号	官報公示整理番号		濃度または 濃度範囲 (%)
			化審法	安衛法	
S, S -ジ-sec -ブチル=O -エチル= ホスホロジチオアート (一般名 カズサホス)	C ₁₀ H ₂₃ PS ₂ O ₂	95465-99-9	—	2-(7)-313	3.0%
繊維質(担体)および その他の成分	—	—	—	—	97.0%

3.3 GHS 分類に寄与する危険有害成分

カズサホス

4. 応急措置

4.1 暴露経路による応急措置

吸入した場合：	直ちに空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 吐き気、頭痛などの症状が続く場合には医師の診察を受けること。
皮膚に付着した場合：	多量の水で洗うこと。使用時に皮膚への刺激や不快感が生じた場合は使用を止めること。 症状が続く場合には医師の診察を受けること。
眼に入った場合：	流水で 15～20 分間注意深く洗うこと。 コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外してから洗浄を続けること。 症状が続く場合には医師の診察を受けること。
飲み込んだ場合：	無理に吐かせないこと。水で口の中を濯いだ後、胃の内容物を薄めるためにコップ 1～2 杯の水をゆっくり飲ませ、医師の診察を受けること。意識混濁、昏睡状態、痙攣などの場合には口から何も与えずに直ちに医師の診察を受けること。
医師に対する情報：	本剤による中毒の治療法として硫酸アトロピン製剤の投与が有効である。

4.2 応急措置をする者の保護

救助者は状況に応じて自給式呼吸維持装置付き防じんマスク、適切な眼、皮膚の保護具を着用する。

5. 火災時の措置

5.1 消火剤

粉末消火剤、泡消火剤、水噴霧、二酸化炭素を使用する。

5.2 使ってはならない消火剤

火災が周辺に広がるおそれがあるため、直接の棒状注水をさける。

5.3 特有の危険有害性

火災時に刺激性、腐食性及び有毒ガスを発生するおそれがある。
一酸化炭素、二酸化炭素、硫黄酸化物、リン酸化物を生成するおそれがある。
加熱により容器が爆発するおそれがある。

5.4 特有の消火方法

消火活動は風上から行う。
火災場所の周辺には関係者以外の立ち入りを規制する。
危険でなければ火災区域から容器を移動する。
粉じん、ミスト、煙を吸入しないように注意する。

5.5 消火を行う者の保護

消火作業の際は自給式呼吸維持装置、適切な眼・皮膚の保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外の立ち入りを禁止する。
作業者は適切な保護具（「8.暴露防止及び保護措置」の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入をさける。

6.2 環境に対する注意事項

周辺環境に影響があるおそれがあるため、製品の環境中への流出をさける。

6.3 回収、中和、封じ込め、および浄化の方法

漏出物は箒などで掃き集めて廃棄用の容器に回収すること。
漏出場所の清掃は器具を用いて行い、中和には漂白剤および水酸化ナトリウム溶液を使用し、その後、水で洗浄すること。洗浄液は吸着剤を用いて回収し、廃棄用の容器に回収すること。廃棄用の容器には内容物を明記したラベルを貼付し、「13.廃棄上の注意」に従って処理をすること。

6.4 二次災害の防止策

取扱いや保管場所の近傍での飲食の禁止。
すべての発火源を速やかに取除く（近傍での喫煙、火花や火炎の禁止）。
排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

7.1 取扱い

技術的対策： 「8.暴露防止及び保護措置」に記載の措置を行い、必要に応じて保護具を着用する。
安全取扱い注意事項： 取扱い後はよく手を洗うこと。
この製品を使用する時に飲食または喫煙をしないこと。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。

7.2 保管

技術的対策： 保管場所には危険・有害物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な照明及び換気の設備を設ける。
保管条件： 容器を密閉して換気の良い冷所で保管する。
容器包装材料： 破損や漏れの無い密閉可能な容器を使用する。

8. 暴露防止及び保護措置

8.1 管理濃度・作業環境評価基準

設定されていない

8.2 許容濃度（暴露限界値、生物学的暴露指標）

日本産業衛生学会(2012) 2mg/m³ (第3種粉じん、吸入性粉じん)
8mg/m³ (第3種粉じん、総粉じん)

8.3 保護具

呼吸器の保護具： 粉じん/ミストが発生する場合、必要に応じて自給式空気呼吸装置付き保護マスクを着用する。

手の保護具： 手に接触するおそれがある場合、薬品用のニトリルゴム製の保護手袋を着用する。

眼の保護具： 眼に入るおそれがある場合、薬品用保護ゴーグルを着用する。

皮膚及び身体への保護具： 作業用の長袖上衣、長ズボン、帽子を着用すること。

8.4 設備対策

粉じんが発生する場合は換気装置を使用する。

8.5 衛生対策

取扱い後はよく手を洗うこと。

取扱い場所の近傍では飲食、喫煙の禁止。

汚染された衣類を再使用する場合は洗濯すること。

作業終了後は必ずシャワーを浴びること。

9. 物理的及び化学的性質

外観 淡灰色細粒

見かけ比重 0.72

10. 安定性及び反応性

10.1 安定性

通常の取扱い条件下では安定である。

11. 有害性情報

11.1 製品の有害性情報

急性毒性： ラット（経口）LD₅₀ >5000 mg/kg（雄、雌）
ラット（経皮）LD₅₀ >2000 mg/kg（雄・雌）

皮膚腐食性・刺激性： ウサギ；刺激性なし

眼に対する重篤な損傷・
眼刺激性： ウサギ；軽度の刺激性

皮膚感作性： モルモット；皮膚感作性なし

11.2 成分の有害性情報

カズサホス

急性毒性： ラット（経口）LD₅₀ 30 mg/kg
ウサギ（経皮）LD₅₀ 11 mg/kg
ラット（吸入；ミスト）LC₅₀ 0.026 mg/L/4 時間

皮膚感作性：	モルモットによる Maximization 法の試験で皮膚感作性あり。
特定標的臓器・全身毒性 (単回ばく露)：	ラットおよびマウスを用いた急性経口毒性試験において、 流涙、自発運動減少、流涎、振戦、筋力低下、呼吸困難、過敏 反応、血涙、血尿、脱毛、着色鼻汁などの症状が見られたが、 いずれも回復が認められた。これらの症状はいずれも 30 ～82 mg/kg の用量で認められた。
特定標的臓器・全身毒性 (反復ばく露)：	ラットにおいて 0.327 mg/kg でコリンエステラーゼの低下 が認められ、59.1 mg/kg で衰弱、自発運動量減少、後肢開脚、 振戦が認められた。

12. 環境影響情報

12.1 製品の有害性情報

生態毒性：	甲殻類（ミジンコ）	48h EC ₅₀ < 0.054 mg/L
	魚類（コイ）	96h LC ₅₀ = 10.8 mg/L

12.2 成分の有害性情報

カズサホス

生態毒性：	甲殻類（オオミジンコ）	48h LC ₅₀ = 0.00257mg/L
	魚類（コイ）	96h LC ₅₀ = 0.246mg/L
分解性：	急速に分解しない。	
蓄積性：	生物蓄積性は低いと推定される（BCF は 220）	

13. 廃棄上の注意

13.1 残余廃棄物

廃棄については関連法規制ならびに地方自治体の基準に従うこと。
都道府県知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して処理すること。

13.2 汚染容器および包装

容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行うこと。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

14.1 国際規制

国連番号:	3077
品 名:	環境有害物質（固体）
国連分類:	9
容器等級:	III
海洋汚染物質:	該当する

14.2 国内規制

陸上規制情報：該当せず
航空規制情報：該当せず
海上規制情報：該当せず

14.3 緊急時応急措置指針（容器イエローカード）番号 171 (低、中程度の危険性物質)

14.4 特別の安全対策

輸送に際しては、直射日光をさけ、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。

15. 適用法令

農薬取締法：	登録農薬名；ラグビーMC 粒剤 (登録番号第 20533 号)
化学物質排出把握管理促進法：	第 1 種指定化学物質、カズサホス(1-331)を 1%以上含有
海洋汚染防止法：	海洋汚染物質

16. その他の情報

参考文献： 化学物質総合情報提供システム（CHRIIP）GHS 分類結果
(<http://www.safe.nite.go.jp/ghs/list.html>)
カズサホス農薬抄録
(<http://www.acis.famic.go.jp/syouroku/cadusafos/index.htm>)
日本産業衛生学会 許容濃度の勧告

【注意】本 SDS は JIS Z 7250:2005、JIS Z 7251:2006、JISZ7252:2009 に準拠し、作成時における入手可能な製品情報、有害性情報に基づいて作成していますが、必ずしも十分ではない可能性がありますので、取扱いにはご注意ください。本 SDS の記載内容については、新しい知見等がある場合には必要に応じて変更してください。また、注意事項等は通常の実施を前提としたものですので、特別な取扱いをする場合には用途・条件に適した安全対策を実施の上、お取り扱い願います。

中毒の緊急問い合わせ先：(公財) 日本中毒情報センター 中毒 110 番

一般市民専用電話 (大 阪) 072-727-2499 (情報料無料) 365日 24時間対応
(つくば) 029-852-9999 (情報料無料) 365日 9～21時対応

医療機関専用有料電話 (大 阪) 072-726-9923 (一件 2000円) 365日 24時間対応
(つくば) 029-851-9999 (一件 2000円) 365日 9～21時対応